

東海テレビ単独出資映画

最初の作品が決定！

『洋菓子店コアンドル』

“2011年 正月第二弾”

全国ロードショー！！

主演に江口洋介と蒼井優！

東海テレビは、2010年度から積極的に映画事業を推し進めます。

今回、フジテレビ系列共同出資映画以外で初めて単独で映画出資することが決定しました。

2011年正月第二弾に公開する、深川栄洋監督作品『洋菓子店コアンドル』。

主演に江口洋介と蒼井優を迎え、街角の洋菓子店を舞台に、いつの時代も女性たちを魅了し続ける“スイーツ”をスパイスに、人生の挫折と再生を描く、キュートで切ないオリジナル・ストーリーを作り上げます。「みんなが幸せになる、誰もが笑顔になるケーキ」の数々を丁寧に映し出しながら、悲しみを乗り越えること、夢を諦めないこと、人生を楽しむことの大切さを瑞々しく描く、ビター&スイートな感動エンタテインメントの誕生です。

## 【映画の内容】

伝説のパティシエと呼ばれながら、8年前に突然、スイーツ界から姿を消した十村遼太郎(江口洋介)。彼は、製菓学校の講師をしながら、スイーツ評論家としてガイドブックを出版。どんな有名店からの誘いも断り、その腕前を披露することはなかった…。東京のパティスリーで武者修行中の恋人を追いかけて、鹿児島から出てきた臼場なつめ(蒼井優)。彼女は、ケーキ屋の娘として地元の店で腕をふるっていたが、愛する恋人を連れ戻すために右も左もわからない東京にやってきた。一緒に帰って結婚することを夢見て…。そんな二人が出会ったのは、“パティスリー・コアンドル”。スイーツ激戦区・東京でも美味しいと評判の洋菓子店。そこは、腕の立つ女主人・依子(戸田恵子)とその夫ジュリアン(ネイサン・バーグ)、そしてパティシエールのマリコ(江口のりこ)が作り上げる魅惑のスイーツで溢れていた。コアンドルの常連の十村が、ケーキ作りを辞めてしまった理由とは？ひょんなことからコアンドルで働くことになったなつめは、恋人をみつけることができるのか？

監督は、『60歳のラブレター』(09年)を確かな演出力で大ヒットに導いた俊英・深川栄洋。主演の二人は日本映画界を代表する豪華な組み合わせ。元パティシエ・十村には、『闇の子供たち』(08年)、『GOEMON』(09年)の熱演も記憶に新しい江口洋介。コアンドルで働くことになる鹿児島から出てきたケーキ屋の娘・なつめには、『フラガール』(06年)、『百万円と苦虫女』(08年)などの若手実力派、蒼井優。そして、戸田恵子、江口のりこ、加賀まりこ、佐々木すみ江らも、作品に深い味わいをあたえます。

## 【キャスト・スタッフ】

江口洋介 蒼井 優

江口のりこ 尾上寛之 栗田 麗 山口朋華 ネイサン・バーグ 嶋田久作

加賀まりこ 鈴木瑞穂 佐々木すみ江 戸田恵子

監督: 深川栄洋

脚本: いながききよたか・深川栄洋・前田こうこ 音楽: 平井真美子

プロデュース: 前田浩子 小樽洋史 ライン・プロデューサー: 星野秀樹

撮影: 安田 光 照明: 中村裕樹 録音: 林 大輔 VE: さとうまなぶ

美術: 岩城南海子 装飾: 松田光敏 スタイリスト: 浜井貴子 ヘアメイク: 竹下フミ

音楽: 平井真美子 音楽プロデューサー: 緑川 徹 編集: 坂東直哉

スクリプター: 坂本希代子 助監督: 菅原丈雄 制作担当: 野村邦彦

製菓総合監修: 上霜孝二(ル・コワンヴェール) 製菓総合指導: 大川 満(エコール 辻 東京)

製作: 「洋菓子店コアンドル」製作委員会(ポニーキャニオン、関西テレビ放送、

アスミック・エース、UM360、イトーカンパニー、東海テレビ放送)

企画・制作: アルケミー・プロダクションズ 制作プロダクションズ: ウィルコ

配給: アスミック・エース ©2010『洋菓子店コアンドル』製作委員会

## 【キャストからのメッセージ】

### ●十村遼太郎 役：江口洋介

十村役でオファーをいただいた当初は、正直自分じゃないのでは？と思うほど繊細な印象を受けていました。そして深川監督と細かいディスカッションを重ねていくうちに、十村という伝説のパティシエ像が、少しずつ自分の中に生まれていきました。作品に入る前には何度もケーキ作りを体験し、その奥深さと、その味を維持していくプロフェッショナル達の真剣さ、厳しさを知りました。試食するため都内の店を何軒も見学したのですが、実に美味しそうにケーキを食べている人達が大勢いるのを見て、ちょっと驚きながら、そういうことも幸せの一瞬なのでは？と感じたりもしました。物語の主役とも言える、沢山の“宝石のようなケーキ達”が、この作品を盛り上げています。映画を見終わった時に「ちょっと、ケーキ食べに行かない？！」と、思わず誰かを誘ってしまいたくなるような、そんな作品に仕上がったのではないかと思います。劇場で、是非ともそんな幸福感を味わってみてください。

### ●臼場なつめ 役：蒼井優

今回は、鹿児島弁とケーキ作り挑戦しました。ケーキ作りの材料と器具一式を先生にお借りして、家で毎日練習したのですが、鹿児島弁を練習して、クリームの絞りをやって、絞りが上手くいくようになったら、今度は鹿児島弁を忘れてしまって、また練習して……。けっこう睡眠時間を削って没頭しました。

深川監督はとても優しく、けど譲らないところは絶対に譲らない人。それは、自分のためではなくすべて作品のためで、周りはそんな監督のために頑張っていました。江口さんとは今回初めてご一緒させて頂きましたが、これまで会ったことのないタイプの方で、好奇心がわきました。役柄的に反発しあうことも多かったので、一番長いシーンがドア越しだったのも印象的です。最高の現場でした。そこにいた人たち全員の想いがしっかりスクリーンに映っていることが、この映画の魅力だと思います。

## 【監督からのメッセージ】

### ●監督：深川栄洋

作品は2009年10月下旬にクランクインし、約1カ月強の撮影を終え、2010年2月初旬には本編の編集を固めたという、短期集中型で作った作品と言えます。江口洋介さん、蒼井優さんを主演に迎えた僕は、ジャズのライブ演奏を楽しむドラマーのような感覚で映画作りをしたという印象があります。撮影現場で生まれるセッションを楽しみ、3人の人生経験を持ち寄って世の中に勝負する映画になるのではないかと考えています。

二人の俳優は確かに時代を築くスターとして輝いていました。江口洋介さんは今までテレビドラマでは見せなかった姿を私たちに魅せてくれました。蒼井優さんは、同じ時代に映画人として存在出来て良かったと思わせてくれる響きを見せて頂きました。二人の俳優には感謝しています。二人が深川組のスタッフと出会い、どういう作品を作り上げたのか、是非、劇場に足を運んで頂き、セッションを楽しんで頂けたら幸いです。

以上